

7/14(土)・7/15(日)

くりはし夏祭り開催

荘厳で豪快な八坂神社大神輿おほみこしが躍動感を与えます。栗橋駅東口周辺で行われる大神輿と阪東太鼓の競演や地元手づくりのお祭り「付け祭り」など見どころ満載です。

問合せ 久喜市栗橋観光協会（栗橋総合支所環境経済課内 内線245）



←→ 7月14日(土)の大神輿渡御 (往復)
 >---> 7月15日(日)の大神輿渡御

7月14日(土)

内容	時間	場所
園児みこし・太鼓	17時～18時	本部前
大神輿	18時～21時30分	本通り
流しおどり	20時～21時	本通り
阪東太鼓	18時45分～19時30分 21時～21時30分	本部前
栗橋ソーラン	19時30分～20時	本部前

7月15日(日)

内容	時間	場所
大神輿	18時～21時30分	町内一巡
納涼フェスティバル	19時～21時30分	本部前
阪東太鼓	19時30分～21時	栗橋駅東口

※お越しの際は鉄道等をご利用ください。
 交通規制のお知らせ

車両等の進入禁止にご協力をお願いします。
 ①～②：両日ともに 16時～21時45分
 ③～④：7月14日(土) 16時45分～21時45分
 7月15日(日) 18時～21時45分

連載 本多静六博士没60年記念 第2回

本多静六博士の業績



博士の生い立ちや業績などを、シリーズで紹介する第2回は、本多静六博士の業績の概要についてです。

博士は、専門の林学を通じ、日本全国各地や19回にも及ぶ海外渡航による世界各地の研究視察を重ね、その貴重な情報を基に、日本経済の発展に大きく貢献しました。

また、博士は林学界のみならず、多方面にわたり活躍し、その交友範囲は埼玉県出身の実業家渋沢栄一をはじめ、政治家大隈重信、後藤新平、医学者北里柴三郎、農学者新渡戸稲造ら、当時の各界の著名人に及んでいます。

博士は、明治25年に東京農科大学（現在の東京大学農学部）に奉職し、昭和2年に退職後、当時の東京府、内務、文部、鉄道などの分野に

おいて、委員や顧問を務め、そこでも林学の普及に尽力しました。また、日比谷公園や明治神宮神苑、大宮公園、羊山公園などの全国各地の公園や、国立公園、鉄道防雪林、風景地、水源林等の設計改良など、今日の日本社会の発展に大きく貢献しました。

また、処世術の面において、「4分の1天引き預金」を博士自ら考案・実践し、無駄を省いた節約貯蓄により、多額の財産を築いた資産家としても高名です。博士は大学教授を定年退職した後、これらの財産のほとんどを公共の事業に寄付し、自らは質素な生活を続けつつ、社会発展のため、昼耕夜学して公職に尽力しました。

現在、埼玉県が実施する「本多静六博士奨学金」は、昭和5年に、博士が所有していた秩父市津川の山林（約2700ヘクタール）を、奨学金制度の実施などを希望条件として、県に寄付したことに始まるものです。

これら博士の広範多岐にわたる功績は、376冊にも及ぶ著書からも証明されるものです。

問合せ 企画政策課企画政策係
 (内線2282)